

令和 7 年度 千曲市自転車活用推進計画の進捗状況一覧表

基本方針		具体施策	R6 年度の進捗状況	R7 年以降のスケジュール
基盤整備	市民や来街者の安全で快適な自転車利用に向けた基盤整備の推進	施策 1 計画的な自転車ネットワーク路線整備や情報発信の推進	・市道 治田町西線において、国の交付金を活用しながら矢羽根等を設置し、自転車通行空間を整備した (L=330m、矢羽根 N=13 箇所、自転車マーク N=11 箇所、カラー路面標示 A=210 m)。	・市道 治田町西線において、国の交付金を活用しながら矢羽根等を設置し、自転車通行空間を整備する (L=310m)。
		施策 2 長野電鉄 屋代線跡地の活用	・市道 屋代中学校北線について、国の交付金を活用して 430mの区間の整備を実施した。 ・県の補助金を活用し、長野電鉄 東屋代駅跡地の広場整備を実施した。	・市道 屋代中学校北線について、倉科踏切付近の工事を行い、全線供用とする。 ・東屋代駅跡地の広場整備を引き続き実施する。 ・雨宮工区 (市道雨宮東西線) の整備に着手する。
		施策 3 路面等の修繕・段差解消	・施策 1 に併せて、路面標示等の修繕を実施した。	・自転車通行空間の整備と併せて、路面等の修繕を実施する。
		施策 4 事故発生箇所や危険箇所の調査及び対策の実施	・小学校が把握している通学路の危険箇所について、令和 6 年 6 月に関係者と合同点検を実施した。 ・市道で対策が必要とされた箇所について、すぐに対応できるものを年度内に実施し、通行車両の速度抑制や自転車利用者・歩行者の視認性向上を図った (対策の実施は別予算)。	・引き続き、合同点検と交通安全プログラム (長野県) を実施していくことで、通学路の安全確保に努める (対策の予算は所管課)。
		施策 5 交通規制の導入や自動車の速度抑制策の実施	・区・自治会からの地域要望や小学校通学路における合同点検等により要望のあった交通規制の導入について千曲警察署へ進達した。 ・埴生地区のゾーン 30 の設定について、埴生地区の各区からの要望があったが、具体的な区域の提案が無かったため、ゾーン 30 の設定には至らなかった。	・地域要望や通学路合同点検による交通規制要望について、千曲警察署へ進達していく。
		施策 6 無電柱化や他道路事業と併せた自転車通行空間の整備推進	・市道 一重山 2 号線において検討を実施した。	・市道 一重山 2 号線の整備に合わせ、無電柱化を含めた自転車通行空間の整備検討を継続していく (予算は市道 一重山 2 号線整備事業に併せて、実施するため単独ではなし)。
		施策 7 鉄道駅やバス停等の交通結節点での駐輪場整備	・屋代駅前駐輪場、戸倉駅前駐輪場において電気設備等の修繕を行った。	・既設の駅前駐輪場において、必要に応じて修繕を行う。
		施策 8 多様なニーズに対応した駐輪場整備	・取組みなし。	・取組み予定なし。
		施策 9 駐輪マナーの周知啓発	・駅前駐輪場の管理人配置を継続実施し、声かけや整理等を行った。	・駅前駐輪場の管理人配置を継続し、声かけや整理等を行う。
健康・環境	自転車の活用による健康的で環境にやさしいライフスタイルへの転換	施策 10 企業における自転車通勤の推進	・「令和 6 年度 信州スマートムーブ通勤ウィーク (9/20~10/4)」について、賛同・広報した。 ・エコドライブ啓発活動を行い、同時にスマートムーブの啓発も行った。	・信州スマートムーブ通勤ウィークが実施される場合は周知する。 ・エコドライブ啓発活動の際に自転車通勤の推進を行う。
		施策 11 市役所における自転車通勤の推進	・令和 5 年 4 月 1 日に施行された改正道路交通法によりヘルメット着用が努力義務となったことから、職員にヘルメット着用を心がけるよう周知した。また、自転車保険加入義務化も併せて周知した。	・自転車通勤者の状況等を調査し、職員にメリット・デメリット等を周知する。
		施策 12 自転車による健康づくりの周知啓発	・一般健康診査等、保健指導の際に、資料を用いて啓発した。	・一般健康診査、保健指導の機会等を活用し、若年齢層に向けて、日常生活の中で自転車に乗ることの健康への効果について資料を使って啓発する。
		施策 13 自転車による環境負荷低減の推進	・11 月のエコドライブ推進月間にエコドライブ、エコ通勤、スマートムーブの広報をした。 ・エコドライブ啓発として千曲市地球温暖化対策協議会と保育園児が道行くドライバーに呼びかける活動をした。	・エコドライブ推進時の周知、啓発を実施する (11 月)。 ・出前講座などで、自転車による環境負荷低減について周知する (通年)。

基本方針	具体施策	R6 年度の進捗状況	R7 年以降のスケジュール
観光 振興	千曲川サイクリングロードを核としたサイクルツーリズムの推進	施策 1 4 レンタサイクル・シェアサイクルの推進 ・シェアサイクル事業（運営及び効果検証）を実施した。（運営期間：3/20～12/1）	・シェアサイクル事業を実施する。・運営（3/20～11/30）及び、効果検証を行い、令和8年度における方向性を検討する。
		施策 1 5 サイクリング拠点の認定・整備 ・認定している「自転車の駅」の協力事業者等へ施設の維持・継続を依頼した。メンテナンスキット、サイクリングマップを配布した。（認定施設数：12 施設）	・認定している施設の維持・継続に努めるとともに、民間任意団体などと協議・調整のうえ、対象となる民間事業者の確保等について検討する。
		施策 1 6 サイクリスト駐車場の整備 ・公共施設等の既存駐車場について、対象となる施設などを検討した。	・公共施設等の既存駐車場について、対象となる施設などの協議・調整を行う。
		施策 1 7 サイクルレスキューの体制構築 ・「サイクルレスキュー」協力事業所に事業の継続を依頼した。（協力事業所数：6 事業所）	・協力事業所の維持・継続に努めるとともに、民間任意団体などと連携・協議等を行いながら、協力事業所の確保等について検討する。
		施策 1 8 多様な自転車が楽しめるコースの整備 ・都市計画課施設係と連携しながら、科野さらしなの里サイクリング推進委員会との検討を必要に応じ実施していくが、財源確保の課題があるため、引き続き関係部署と調整していく。	・関係部署、関係団体等と引き続き関係者間での協議を継続する。
		施策 1 9 鉄道駅のサイクリング拠点化 ・シェアサイクル社会実験について、屋代駅・戸倉駅・千曲駅にサイクルポート・自転車を配置した。	・令和6年度の検証結果を受け、屋代駅・戸倉駅・千曲駅・姨捨駅にサイクルポート・シェアサイクル自転車を配置する。
		施策 2 0 サイクルトレイン・サイクルバスの運行検討 ・実施なし。（例年、しなの鉄道沿線観光協議会にて、沿線自治体と連携し、サイクルトレインの取り組みを実施しており、令和6年度は北しなの線の豊野駅-妙高高原駅区間での実証運行となった）	・しなの鉄道沿線観光協議会で位置づけているサイクルトレインにおける情報把握・連携を図るとともに、交通政策部署の動向も確認していく。
		施策 2 1 地域資源を活かした自転車関連イベントの開催 ・科野さらしなの里サイクリング推進委員会により「ちくま サイクリング クエスト（スタンプラリー）」が開催され、広報等での連携を実施した。	・科野さらしなの里サイクリング推進委員会がイベントを実施する。市としても情報発信など協力できるところは引き続き連携していく。
		施策 2 2 市民を対象とした自転車関連イベントの開催 ・「千曲ラン&サイクル」のホームページを継続開設し、ランニングコースの紹介やサポートショップ等を紹介した。 ・ホームページ内から「ちくまサイクリング」とリンクし、おすすめのサイクリングコース、観光スポット等をPRした。	・引き続きホームページでPRを実施しマラソン、サイクリングの普及を図る。 ・サポートショップなどの制度の見直しを行う。
		施策 2 3 サイクリングマップの活用 ・作成済みのサイクリングマップを修正・更新し、1,200 部増刷した。観光局等窓口に設置するとともに、サイクリング推進委員会等で配布した。	・作成済みのサイクリングマップの修正・更新並びに増刷予定。科野さらしなの里サイクリング推進委員会と連携しながら、多言語版マップについて検討する。
		施策 2 4 ポータルサイトの整備・充実 ・「ちくまサイクリング」ホームページの保守管理を NPO 法人エリアネットに委託した。情報発信の更新等は科野さらしなの里サイクリング推進委員会に依頼した。	・ホームページの保守管理（委託）を継続する。情報発信の更新等は科野さらしなの里サイクリング推進委員会に引き続き依頼していく。
		施策 2 5 先行事例の調査・活用 ・自転車を活用したまちづくりに係る先進地の現地視察（富山県）を実施した。	・先進事例の検討及び長野・北信サイクルツーリズム推進会議参画団体等の情報共有を図りながら、サイクルツーリズムの促進に生かす。
		施策 2 6 他地域とのネットワークづくりの推進 ・シェアサイクル事業を上田市と連携して実施（社会実験より広域連携4 年）した。 ・長野・北信サイクルツーリズム推進会議への参画を図った。 ・Japan Alps Cycling Road 推進協議会への参画を図った。	・シェアサイクル事業を上田市と連携して実施する。 ・長野・北信サイクルツーリズム推進会議へ参画する。 ・Japan Alps Cycling Road 推進協議会へ参画する。

基本方針		具体施策	R6年度の進捗状況	R7年以降のスケジュール
交通安全	自転車事故ゼロを目指した自転車ルール・マナーの周知啓発	施策27 若年層・高齢者への交通安全教育の充実	・出前講座「交通安全教育」の申込み実績はなかった。	・出前講座が積極的に利用されるようPRしていく。
		施策28 家庭での交通安全教育の促進	・千曲交通安全協会との共催により、「家庭の安全運転管理者制度」を実施し、家庭における安全教育を推進した。	・家庭の安全運転管理者制度への共催を継続していく。
		施策29 交通安全意識の啓発	・季別（春夏秋冬）の交通安全運動を実施した。	・季別の交通安全運動の開催を継続する等、交通安全意識の啓発を図っていく。
		施策30 自転車の定期点検や整備に関する意識啓発	・市ホームページで周知・啓発を行った。	・自転車の定期点検や整備について、周知・啓発を積極的に実施する。
		施策31 自転車損害賠償責任保険の加入促進	・市ホームページで周知・啓発を行った。	・自転車賠償保険の加入促進について、周知・啓発を積極的に実施する。
		施策32 ヘルメット着用の広報・啓発や補助金の利用促進	・千曲市自転車用ヘルメット購入費補助金交付要綱を整備し、市ホームページで周知・啓発を行い、補助金を交付した。	・ヘルメット着用の義務化について、周知・啓発を積極的に実施する。
全体	自転車条例の改正	施策33 「千曲市自転車の安全利用及び自転車等の駐車対策に関する条例」の改正	・「長野県自転車の安全で快適な利用に係る条例」制定により、令和元年10月1日から自転車損害賠償保険等への加入の義務化や点検の努力義務化がなされた。また、「道路交通法」の一部改正により、令和5年4月1日から自転車用ヘルメット着用が努力義務化された。については本施策は目的を達成したと考える。	・取組み予定なし。